

令和5年度 指定管理者 実績評価シート

No.	36			
施設名	高山市立あゆみ学園	担当課	こども家庭センター	内線 2914
		地域名	高山地域	
指定管理者	(社福)高山市社会福祉協議会			

1 施設の概要

施設所在地	高山市昭和町2丁目224番地			
設置目的	精神又は身体に障がいを有する児童に対し、通園の方法により指導を行い、その育成を図る。			
施設の概要	鉄筋4階建(総合福祉センター内)			
公共施設等総合管理計画	施設のあり方	方針	継続	時期 ー
引き続き行政による管理、運営を行う				

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 18 年 4 月	募集の方法	非公募
現在の指定期間	平成 31 年度 ～ 令和 5 年度 (5 年間)		
利用料金制	無	評価区分	I (環境衛生・福祉・保健・体育・社会教育・農業・自然体験施設)

3 適正な管理に関する状況

管理職員の配置	
配置人員	常勤 社員・職員1人 非常勤 パート・賃金3人
業務実施状況等の随時調査の実施状況及び結果	
実施日	調査内容及び結果
月1回程度	事業が適切に実施されているかを確認した。指摘事項なし。

4 利用促進・サービス向上に関する状況

施設利用者の推移				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	325	441	420	420
前年度増減比 (%)		35.7%	△4.8%	0.0%

モニタリング調査結果

方法	アンケート	方法	利用児童の保護者からアンケート用紙を回収			件数	52 件	
	その他の手法							
	意見交換会	利用児童の保護者						
アンケート結果 (%)		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
①	提供される支援に対する満足度	82.4	8.8				8.8	100
②								
③								
利用者等からの要望・意見と対応		要望・意見				対応		
指定管理者に対する意見	①	保護者の控室に網戸を設置してもらいたい。				療育中に保護者が過ごす控室に網戸を設置し、感染症予防のために換気できるようにした。		
	②							
	③							
	④							
市に対する意見	①							
	②							
	③							
	④							

自主事業の実施状況	
実施内容	実績及び評価

業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
親子で体を使って遊び、楽しい時間を過ごす。	親子で楽しい時間を過ごしながら、愛着形成や親子関係を深めることができた。
小集団で活動する経験を積む中で、できる事を増やしていく。	小集団での活動を通じて、他児との関わり方を学ぶとともに、準備や後片付けなどができるようになった。
保護者が子育てに対する不安について、安心して相談できる場を提供する。	毎週に子育ての相談ができる場となるよう心がけ、活動中個別に声掛けを行った。また、保護者交流会を実施し、保護者同士のつながりを深めるとともに、職員が個別に子育ての悩みを聞きとり保護者の不安軽減に努めた。

5 安定した管理能力に関する状況

実施内容	対象・回数など
スタッフのスキルアップのための研修	市主催の児童発達支援のスキルアップ研修等への参加 (15回 延べ43人)

地域との連携・取り組み内容	結果・成果
取り組み	結果・成果
相談支援事業所等との連携	相談支援事業所や児童発達支援事業所等と連携し、必要に応じて障がい児通所サービスへ移行している。

6 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	使用料					
	指定管理料	4,184	4,184	4,184	4,536	人件費増額分
	その他					
収入合計		4,184	4,184	4,184	4,536	
支出	人件費	3,794	3,836	3,880	3,922	給与
	事務費	30	30	8	75	消耗品費
	管理費		50	50	50	
	事業費	335	159	169	83	地域療育事業費
	公租公課					
	その他					
	精算金					
納入金						
支出合計		4,159	4,075	4,107	4,130	
指定管理業務収支		25	109	77	406	
自主事業収支						
全体収支		25	109	77	406	
[法人税]						

7 指定管理者の評価

項目	評価	前年	評価に対する内容
適正な管理 (40)	b (30.0)	b	利用児童に対して3か月ごとに評価を行い、その評価に基づいた支援を実施している。また、職員の専門性の確保や療育備品の定期点検など、適正な管理がなされている。
利用促進・サービス向上 (30)	c+ (19.5)	c+	利用者アンケートなどから利用者のニーズを的確に把握し、サービスの向上に努めている。昨年度に要望のあった駐車場の確保については、本事業専用の駐車場を確保したこと、対応できている。
安定した管理能力 (20)	b (15.0)	b	積極的に市が主催する児童発達支援のスキルアップ研修などに参加し、スタッフの資質向上に努めるとともに、研修で学んだことを療育現場で実践している。また、関係機関や市担当課との関係も良好で、情報共有や意見交換といった連携を図ることができている。
経費の縮減 (10)	c+ (6.5)	c+	指定管理料の範囲内において、適正な経理執行に努めており、収支のバランスも適正である。
	* (*)	*	
総合評価	B (71.0)	B	3か月ごとに関係機関を交えた利用児童の評価を行い、より効果的なサービスの提供に努めている。また、高い専門性を有するスタッフの配置や利用者の要望への迅速な対応など、全体としてバランスのとれた事業運営がなされている。

令和5年度 指定管理者 実績評価シート

No.	40					
施設名	高山市ふれあい会館（児童館・老人いこいの家）	担当課	こども政策課		内線	2946
		地域名	高山地域			
指定管理者	（社福）高山市社会福祉協議会					

1 施設の概要

施設所在地	高山市名田町3丁目1番地3				
設置目的	児童に健全な遊びを提供し、健康の増進及び情操を豊かにする。高齢者と児童のふれあいを図る。				
施設の概要	鉄筋2階建造。児童館456.30㎡、老人いこいの家78.00㎡、デイサービスセンター81.00㎡				
公共施設等総合管理計画	施設のあり方	方針	継続	時期	－
老朽度合いや利用状況等を踏まえ、施設の在り方について検討する。					

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 18 年 4 月	募集の方法	公募
現在の指定期間	平成 31 年度 ～ 令和 5 年度 (5 年間)		
利用料金制	有	評価区分	I(環境衛生・福祉・保健・体育・社会教育・農業・自然体験施設)

3 適正な管理に関する状況

管理職員の配置	
配置人員	常勤 社員・職員1人、契約社員・嘱託1人、パート・賃金1人
	非常勤 パート・賃金1人

業務実施状況等の随時調査の実施状況及び結果	
実施日	調査内容及び結果
9月20日	岐阜県飛騨県事務所の書面及び現地指導監査を実施し、適正な管理運営を確認
随時	こども政策課職員が現地訪問し、適正な管理運営を確認

4 利用促進・サービス向上に関する状況

施設利用者の推移				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数（人）	7,797	7,137	8,496	11,936
前年度増減比（％）		△8.5%	19.0%	40.5%

モニタリング調査結果								
方法	アンケート	方法		施設利用者に対し、アンケートを実施			件数	70 件
	その他の手法							
	意見交換会							
アンケート結果（％）		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
①	施設の管理・運営について	76.1	19.4	4.5				100
②	施設の建物・設備等について	36.2	36.2	20.3	5.8	1.4		100
③								
利用者等からの要望・意見と対応		要望・意見			対応			
指定管理者に対する意見	①	職員の対応が温かく、いつも気持ちよく利用できる。			継続して利用者が利用しやすいよう対応する。			
	②	職員に経験や情熱があり、運営が文句なく、行事を楽しみにしている。			参加者に喜ばれ、次回も参加したいと思われるような企画をすすめる。			
	③	清潔であり、冷暖房があるので有難い。			古い施設ではあるが、清潔な環境と適度な室温が保たれるよう配慮している。			
市に対する意見	①	駐車場が離れている。			引き続き市営駐車場の利用により対応する。			
	②	トイレの洋式化、建物を改築してほしい。			施設のあり方と合わせ、中長期的に検討する。			
	③							

自主事業の実施状況	
実施内容	実績及び評価
5館合同児童館フェスタ、服の交換会（ハトンタッチ）、公衆浴場の利用を学ぶ（小学生こども銭湯）	地域住民と連携した事業を実施し、多世代交流が図られている。

業務計画における達成状況	
実施目標	達成状況
地域に根ざした開館運営	地域住民との交流を図り、地域に根ざした運営を行っている。

5 安定した管理能力に関する状況

人材育成の状況	
実施内容	対象・回数など
職員研修	児童厚生員：随時

地域との連携・取り組み内容	
取り組み	結果・成果
各地区の町内会（南・花里）・まち協・小中学校・民生児童委員、長寿会との連携事業	まち協、地元町内会や学校などと連携した事業を計画し、地域に根ざした運営を行っている。

6 収支に関する状況（経費の縮減）					
（単位：千円）					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	使用料				
	指定管理料	10,115	10,215	10,115	10,892
	その他				1 公衆電話利用料
収入合計		10,115	10,215	10,115	10,893
支出	人件費	8,092	7,298	6,857	8,569
	事務費	273	312	292	305
	管理費	1,511	1,728	1,671	1,682
	事業費	554	526	600	582
	公租公課	81	66	60	67
	その他				
	精算金				
	納入金				
支出合計		10,511	9,930	9,480	11,205
指定管理業務収支		△396	285	635	△312
自主事業収支					
全体収支		△396	285	635	△312
〔法人税〕					

7 指定管理者の評価

項目	評価	前年	評価に対する内容
適正な管理（40）	c＋（ 26.0 ）	c＋	児童に健全な遊びを提供し、健康の増進及び情操を豊かにするという設置目的に従い、適正に管理・運営されている。
利用促進・サービス向上（30）	b（ 22.5 ）	b	新型コロナウイルス感染症の影響も徐々に減り、入館者も戻ってきている。地域住民や関係事業者と連携して事業を実施している。アンケートも「やや不満」や「不満」との回答もあるが、おおむね満足度は高く、不満や要望の内容は、施設の老朽化など指定管理者が責を負わない理由もあるため、評価は同水準とした。
安定した管理能力（20）	b（ 15.0 ）	b	地域福祉の担い手としての長年の経験やノウハウを活かし、安定して管理運営している。
経費の縮減（10）	c＋（ 6.5 ）	c＋	室内の温度調整や電気の消灯など経費削減に対する意識が定着している。また、紙の再利用や廃材を利用した事業を行うなど経費の縮減に努めている。
	*（ * ）	*	
総合評価	B（ 70.0 ）	B	まちづくり協議会、地元町内会や学校などと連携した事業を実施するなど、地域に根ざした運営が行われている。また、職員の接遇に対する評価も高く好評を得ている。

令和5年度 指定管理者 実績評価シート

No.	41				
施設名	高山市城山児童センター	担当課	こども政策課	内線	2934
		地域名	高山地域		
指定管理者	(社福)高山市社会福祉協議会				

1 施設の概要

施設所在地	高山市堀端町94番地			
設置目的	児童に健全な遊びを提供し、健康の増進及び情操を豊かにする。			
施設の概要	城山保育園(鉄筋コンクリート造2階建)2階部分 床面積440㎡			
公共施設等総合管理計画	施設のあり方	方針	継続	時期
			—	他の子育て支援関連施設との複合化を検討するとともに、再配置又は統廃合を検討する。

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 18 年 4 月	募集の方法	公募	
現在の指定期間	平成 31 年度 ~ 令和 5 年度	(5 年間)		
利用料金制	有	評価区分	I(環境衛生・福祉・保健・体育・社会教育・農業・自然体験施設)	

3 適正な管理に関する状況

管理職員の配置	
配置人員	常勤 社員・職員1人、契約社員・嘱託2人
	非常勤 パート・賃金1人

業務実施状況等の随時調査の実施状況及び結果	
実施日	調査内容及び結果
9月20日	飛騨県事務所福祉課の書面及び現地監査を実施し、適正な管理・運営を確認
随時	こども政策課職員が訪問し適切な管理・運営を確認

4 利用促進・サービス向上に関する状況

施設利用者の推移				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	3,936	4,246	5,538	7,207
前年度増減比 (%)		7.9%	30.4%	30.1%

モニタリング調査結果								
方法	アンケート	方法	施設利用者に対しアンケートを実施			件数	50 件	
	その他の手法							
	意見交換会							
アンケート結果（％）		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
①	施設の利用のしやすさについて	66.0	26.0	8.0				100
②	施設の建物・設備について	28.0	34.0	16.0	18.0	4.0		100
③								
利用者等からの要望・意見と対応		要望・意見				対応		
指定管理者に対する意見	①	職員が優しく親切に対応してくれるため利用しやすいという意見が多くある。				継続して親切・丁寧な対応に心がけていく。		
	②							
	③							
	④							
市に対する意見	①	駐車場が遠い。				街中で近くの駐車スペース確保が困難なため現状で理解を求める。		
	②	トイレの改修				施設のあり方と合わせ、中長期的に検討する。		
	③							
	④							

自主事業の実施状況	
実施内容	実績及び評価
空町緑日(まちづくり協議会と共催)ほか	新型コロナウイルス感染症の影響も減少し、親子が楽しめる事業が実施できた。

業務計画における達成状況	
実施目標	達成状況
地域に根ざした施設運営・多世代交流	行事等を通して、地域との連携を深めることができた。
地域体験交流	行事等を通して、地域との連携を深めることができた。
おでかけ隊(移動児童センター)の実施	支所地域で実施し、遊びと交流の場を提供することができた。

5 安定した管理能力に関する状況

人材育成の状況	
実施内容	対象・回数など
職員研修	児童厚生員:随時

地域との連携・取り組み内容	
取り組み	結果・成果
まちづくり協議会との連携	まちづくり協議会と共催行事を実施するなど協力体制が築けている。
社会資源の活用	地域の資源を活用した行事を実施している。
地域ボランティアの活躍	まちづくり協議会と連携し地域のボランティアが活躍する場を設けた。

6 収支に関する状況(経費の縮減) (単位:千円)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	使用料	11	8	13	
	指定管理料	20,033	20,083	20,033	20,656
	その他				
収入合計		20,044	20,091	20,046	20,668
支出	人件費	12,884	16,442	16,697	16,456
	事務費	282	204	249	292
	管理費	1,850	2,084	2,135	2,118
	事業費	635	712	713	772
	公租公課	1	1	1	1
	その他				
	精算金				111
	納入金				
支出合計		15,652	19,443	19,795	19,750
指定管理業務収支		4,392	648	251	918
自主事業収支					
全体収支		4,392	648	251	918
[法人税]					

7 指定管理者の評価

項目	評価	前年	評価に対する内容
適正な管理(40)	c+ (26.0)	c+	仕様書や設置目的に従い、適正に管理運営されている。
利用促進・サービス向上(30)	b (22.5)	b	地域の関係団体、ボランティア団体と協働し、親子が楽しめる事業を実施し、利用者数は回復しつつある。
安定した管理能力(20)	b (15.0)	b	保育園との一体施設であり、適切な連携が図られているほか、まちづくり協議会、地域住民等と良好な関係を築いており、地域に根ざした安定的な施設運営が行われている。
経費の縮減(10)	c+ (6.5)	c+	室内の温度調整や電気の消灯など経費削減に対する意識が定着している。また、紙の再利用や廃材を利用した事業を行うなど経費の縮減に努めている。
	* (*)	*	
総合評価	B (70.0)	B	適正に管理運営され利用者数が回復傾向にある。一体施設である保育園のほか、まちづくり協議会、地域住民と適切な連携が図られ、地域に根ざした運営が行われている。

令和5年度 指定管理者 実績評価シート

No.	42				
施設名	高山市山王児童センター	担当課	こども政策課	内線	2946
		地域名	高山地域		
指定管理者	(社福)高山市社会福祉協議会				

1 施設の概要

施設所在地	高山市森下町1丁目401番地			
設置目的	児童に健全な遊びを提供し、健康の増進及び情操を豊かにする。			
施設の概要	山王保育園(鉄筋コンクリート造2階建)2階部分 床面積307.49㎡			
公共施設等総合管理計画	施設のあり方	方針	継続	時期
			—	他の子育て支援関連施設との複合化を検討するとともに、再配置又は統廃合を検討する。

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 18 年 4 月	募集の方法	公募
現在の指定期間	平成 31 年度 ～ 令和 5 年度 (5 年間)		
利用料金制	有	評価区分	I(環境衛生・福祉・保健・体育・社会教育・農業・自然体験施設)

3 適正な管理に関する状況

管理職員の配置	
配置人員	常勤 社員・職員1人、契約社員・嘱託2人
	非常勤 パート・賃金1人

業務実施状況等の随時調査の実施状況及び結果	
実施日	調査内容及び結果
9月20日	飛騨県事務所福祉課の書面及び現地監査を実施し、適正な管理・運営を確認
随時	こども政策課職員が訪問し適正な管理・運営を確認

4 利用促進・サービス向上に関する状況

施設利用者の推移				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	4,150	3,988	5,242	8,663
前年度増減比 (%)		△3.9%	31.4%	65.3%

モニタリング調査結果								
方法	アンケート	方法	施設利用者に対しアンケートを実施		件数	50 件		
	その他の手法							
	意見交換会							
アンケート結果(%)		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
①	施設の利用のしやすさについて	92.0	8.0					100
②	施設の建物・設備について	48.0	36.0	12.0	4.0			100
③								
利用者等からの要望・意見と対応		要望・意見				対応		
指定管理者に対する意見	①	職員の対応が温かく親切で利用しやすいという意見が多くある。				継続して親切・丁寧な対応に心がけていく。		
	②							
	③							
	④							
市に対する意見	①	駐車場が少ない。				隣接する普通財産の利用を含め、指定管理者等と協議している。		
	②							
	③							
	④							

自主事業の実施状況	
実施内容	実績及び評価
5館合同児童館フェスタ	新型コロナウイルス感染症の影響も減少し、利用者が楽しめる事業を実施できた。

業務計画における達成状況	達成状況
実施目標	達成状況
長期休暇中における遊びや体験を通しての異年齢交流	長期休暇中の小学生向けの行事の一つとして、幼児親子や地域ボランティア(中学生や年長者)との交流行事を実施し、異年齢交流を図ることができた。
親同士の交流の場や小中学生の居場所づくり	幅広い世代を対象にした行事を定期的に開催し、利用者の満足度が向上した。

5 安定した管理能力に関する状況

人材育成の状況	
実施内容	対象・回数など
職員研修	児童厚生員:随時

地域との連携・取り組み内容	
取り組み	結果・成果
轄下の山王保育園との交流	会場で避難訓練や感染状況等の連絡を密にとるなど連携強化が図られた。
地域の中学生とのボランティア協力体制	目標中学校と連携し、地域の子どもたちと多世代交流が図られた。
地域のお店や山王まち協との協働事業	地域の駄菓子屋と連携した工作のイベントを新たに開催した。

6 収支に関する状況(経費の縮減) (単位:千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	使用料					
	指定管理料	18,741	18,741	18,741	19,569	
	その他					
収入合計		18,741	18,741	18,741	19,569	
支出	人件費	16,544	15,517	14,982	16,249	
	事務費	251	185	186	194	
	管理費	1,630	1,746	1,806	1,823	
	事業費	370	594	648	842	
	公租公課		4	3		
	その他					
	精算金				146	
納入金						
支出合計		18,795	18,046	17,625	19,254	
指定管理業務収支		△54	695	1,116	315	
自主事業収支						
全体収支		△54	695	1,116	315	
[法人税]						

7 指定管理者の評価

項目	評価	前年	評価に対する内容
適正な管理(40)	c+ (26.0)	c+	仕様書や設置目的に従い、適正に管理運営されている。
利用促進・サービス向上(30)	b (22.5)	b	地域の関係団体や事業者と連携し、親子が楽しめる事業を実施し、利用者数は回復しつつある。
安定した管理能力(20)	b (15.0)	b	保育園や地域の学校、事業所などと連携し、地域に根ざした施設運営が行われている。
経費の縮減(10)	c+ (6.5)	c+	室内の温度調整や電気の消灯を心がけるなど、経費削減に対する意識が定着している。また、紙の再利用や廃材を利用するなど経費の縮減に努めている。
	* (*)	*	
総合評価	B (70.0)	B	適正な管理・運営が行われている。また、保育園や地域の学校、事業所などと連携を密にし、地域に根ざした運営が行われている。

令和5年度 指定管理者 実績評価シート

No.	43					
施設名	高山市国府児童館	担当課	こども政策課		内線	2946
		地域名	国府地域			
指定管理者	(社福)高山市社会福祉協議会					

1 施設の概要

施設所在地	高山市国府町三日町547番地1				
設置目的	児童に健全な遊びを提供し、健康の増進及び情操を豊かにする。				
施設の概要	国府児童館 木造平屋建 床面積 499.50㎡				
公共施設等総合管理計画	施設のあり方	方針	継続	時期	－
引き続き行政による管理・運営を行う。					

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 18 年 4 月		募集の方法	公募
現在の指定期間	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度 (5 年間)			
利用料金制	有	評価区分	Ⅰ(環境衛生・福祉・保健・体育・社会教育・農業・自然体験施設)	

3 適正な管理に関する状況

管理職員の配置	
配置人員	常勤 社員・職員2人、契約社員・嘱託1人
	非常勤 パート・賃金1人

業務実施状況等の随時調査の実施状況及び結果

実施日	調査内容及び結果
9月20日	飛騨県事務所福祉課の書面及び現地監査を実施し、適正な管理・運営を確認
随時	子育て支援課職員が訪問し適切な管理・運営を確認

4 利用促進・サービス向上に関する状況

施設利用者の推移				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	9,577	8,663	12,418	15,455
前年度増減比 (%)		△9.5%	43.3%	24.5%

モニタリング調査結果

方法	アンケート	方法		施設利用者に対しアンケートを実施		件数	50 件	
	その他の手法							
	意見交換会							
アンケート結果(%)		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
①	施設の利用のしやすさについて	90.0	10.0					100
②	施設の建物・設備について	64.6	27.1	6.3	2.1			100
③								
利用者等からの要望・意見と対応		要望・意見				対応		
指定管理者に対する意見	①	職員が優しく親切に対応してくれるため利用しやすいという意見が多くある。				継続して親切・丁寧な対応に心がけていく。		
	②	フローリングが冬場寒い。				プレイマットを設置し、利用者への要望に対応した。		
	③							
市に対する意見	①	駐車場がもう少し広く、近場にあるといい。				行事など特定日の対応については、近隣の公共施設等に対応する。		
	②							
	③							

自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
5館合同児童館フェスタ、買い物体験(幼児・小中学生)	新型コロナウイルス感染症の影響も減少し、利用者が楽しめる事業を実施できた。

業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
放課後児童クラブ(なつめクラブ)との連携	多世代交流が図られ、親子で様々な体験をすることができた。また、合同避難訓練を行い緊急時の対応について再確認ができた。
国府小学校、こくふ保育園との連携	行事や未館児童・園児について連絡を取り合い、緊急時に協力ができる体制を構築した。
就園児・小学生の来館促進	保育園との合同行事や小学校への行事参加等を実施し、児童館の周知及び来館者の促進を図った。

5 安定した管理能力に関する状況

人材育成の状況	
実施内容	対象・回数など
職員研修	児童厚生員随時

地域との連携・取り組み内容

取り組み	結果・成果
国府町乳幼児学級(ピッコロハウス)との連携	協働行事を通して多くの親子に児童館を知ってもらえるきっかけが来ている。また、地域に根差した子育て支援の拠点となっている。
国府町まちづくり協議会との連携	まち協だよりで児童館の情報を発信している。子育て世帯県内にも知らせていただき、地域住民からの理解と協力を得ている。
ボランティアサークル「かれーらいず」との連携	協働で行事を行い、多くの親子に児童館を知ってもらうことで、地域に根ざした子育ての支援拠点となっている。

6 収支に関する状況(経費の縮減)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	使用料					
	指定管理料	12,024	12,074	12,454	12,623	
	その他	65	55	60	43	エネルギー電力受給
収入合計		12,089	12,129	12,514	12,666	
支出	人件費	8,357	9,516	9,905	12,892	
	事務費	154	144	157	151	
	管理費	1,398	1,902	1,966	1,840	
	事業費	288	648	480	674	
	公租公課		1	1	4	
	その他					
	精算金	50				
納入金						
支出合計		10,247	12,211	12,509	15,561	
指定管理業務収支		1,842	△82	5	△2,895	
自主事業収支						
全体収支		1,842	△82	5	△2,895	
[法人税]						

7 指定管理者の評価

項目	評価	前年	評価に対する内容
適正な管理(40)	c+ (26.0)	c+	設置目的や仕様書に従い、適正に管理運営されている。
利用促進・サービス向上(30)	b (22.5)	b	安全安心な乳幼児親子の居場所などとして環境整備を進めたほか、工夫した行事開催、職員の声掛けや寄り添いなど気軽に来館しやすい雰囲気づくりに努め、利用者数は回復しつつある。
安定した管理能力(20)	b (15.0)	b	社会福祉協議会の特性を活かし、関係団体や地域住民と連携した事業を実施しており、地域に根ざした子育て支援拠点となっている。
経費の縮減(10)	c+ (6.5)	c+	室内の温度調整や電気の消灯を心がけるなど、経費削減に対する意識が定着している。また、紙の再利用や廃材を利用した事業を行うなど、経費の縮減に努めている。
	* (*)	*	
総合評価	B (70.0)	B	適切な管理・運営が行われた。職員の接遇に対する評価が高く、利用者数は回復傾向にあり、関係団体と連携を図った地域に根ざした子育て支援拠点として利用が広がっている。